

産業廃棄物処理計画書

令和元年 6月 28日

島根県知事 丸山 達也 殿



提出者

住所 島根県益田市遠田町2554番地

氏名 株式会社 野村組

代表取締役 野村喜代志

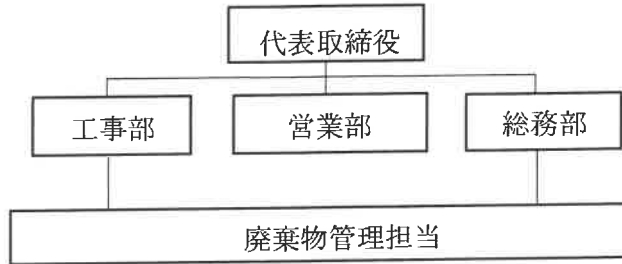
電話番号 0856-27-0489

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 野村組
事業場の所在地	島根県益田市遠田町2554番地
計画期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	3,000万円
③従業員数	24人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・一般土木工事・一般建築工事・解体工事・木くず→ 再生処理業者に委託して、燃料チップとして再資源化・がれき類(アスファルト殻) →再生処理業者に委託して、再生合材として再資源化・がれき類(コンクリート塊) →再生処理業者に委託して、再生合材として再資源化・金属くず(鉄) → 再生処理業者に委託して、再生鉄として再資源化

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラスチック類	紙くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	資源物
	排出量	12922.074t	308.34t	23.335t	4.985t	0.828t	20.163t	3.62t	25.87t
	廃石膏ボード	5.96t	12.11t	1336.89t	63.53t				
	(これまで実施した取組) ・発生量を最小限に抑えるように、施工計画の段階で計画をする。 ・再生可能な処理業者と委託契約を締結し再生資源化を促進。								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類	廃プラスチック類	紙くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	資源物
	排出量	10,000t	300t	20t	5t	3t	10t	10t	30t
	廃石膏ボード	8t	4t	1,500t	50t				
	(今後実施する予定の取組) 上記内容を継続実施。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・コンクリート殻・アスファルト殻は分別し、処理業者へ委託。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記内容を継続実施。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組) ・実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-	-
	(これまでに実施した取組)	t	t
・実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-	-
	(今後実施する予定の取組)	t	t
・実施予定なし。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】 ※ 別紙参照		
	産業廃棄物の種類	-	-
	全処理委託量	-	-
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)	・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施。	

	【目標】	※ 別紙参照	
	産業廃棄物の種類	-	-
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来通り、再生利用が可能である廃棄物は、再生利用業者へ処理委託をする。委託先は、可能な限り優良認定処理業者から選定する。 		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず [※]	がれき類
全処理委託量	12,922.074 t	308.34 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	12,922.074 t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず [※]
全処理委託量	23.335 t	4.985 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類	繊維くず [※]	金属くず [※]
全処理委託量	0.828 t	20.163 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	20.163 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	管理型建設混合廃棄物
全処理委託量	3.62 t	25.87 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（平成30年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物(がれき類)
全処理委託量	5.96 t	12.11 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
全処理委託量	1,336.89 t	63.53 t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	1,336.89 t	63.53 t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
産業廃棄物の種類		
全処理委託量	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	がれき類
	全処理委託量	10,000 t	300 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	10,000 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	20 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	繊維くず	金属くず
	全処理委託量	3 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート陶磁器くず	管理型建設混合廃棄物
	全処理委託量	10 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃石膏ボード	石綿含有産業廃棄物(がれき類)
	全処理委託量	8 t	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類	コンクリート殻	アスファルト殻
	全処理委託量	1,500 t	50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,500 t	50 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。